

2022-2023

# 金融庁

採用案内

Financial Services Agency



金融庁採用ページへ  
<https://www.fsa.go.jp/common/recruit/>

Creating the future with Finance.



金融庁長官

中島 淳一

NAKAJIMA Junichi

## Top Message

社会経済のグローバル化とデジタル化が急速に進んでいます。その最先端に位置し、また支えているのが、お金の流れ「金融」です。

地球温暖化を止めるためには、脱炭素技術の実用化に向けた多額の資金が、国内外で必要です。AI（人工知能）やブロックチェーンの研究開発を行うベンチャー企業に成長資金を供給しつつ、金融分野では新しいデジタル技術の実用化に向けた試みが続きます。一方で、地域金融機関は人口減少やコロナ感染の影響を受ける地域経済の中核を担っています。住宅購入や老後の安心のために、国民の金融資産を安定的に増やしていくことも重要です。

私たちの使命は、こうした金融に対する様々なニーズに応え、経済の発展と国民の豊かさに貢献することです。そのため、世界の動きに目を凝らし、将来を見据え、金融資本市場や金融機関がその役割を十分に果たせるように、日々、検査監督や立法作業に取り組んでいます。

金融庁では個性あふれる多様な人材を探しています。職員の能力・専門性を高めるために、入庁後の人材育成には力をいれてきました。これからの時代を担う皆さんと、一緒に働ける日を心より楽しみにしています。

# Recruiting Pamphlet 2022-2023

# 経済の心臓を動かす



02 長官からのメッセージ	18 キャリアパス 目次
04 部門紹介 目次	20 係長×係員 対談
05 組織図	22 課長補佐
06 官房部門	24 室長
08 国際部門	26 出向について
10 企画部門	28 国内・海外留学について
12 モニタリング部門（業態別）	30 ワークライフバランス
14 モニタリング部門（業態横断チーム）	32 研修制度
16 証券取引等監視委員会	33 自主的な政策提言
17 公認会計士・監査審査会	34 採用案内
	35 採用チームからのメッセージ

## Contents

# Measures & Policies

- Contents -

金融庁の司令塔。

官房部門 06

グローバルに課題解決をリードする。

国際部門 08

金融の最先端を考える。

企画部門 10

育成と規制のバランスを考える。

モニタリング部門 (業態別) 12

専門性を活かしたモニタリング。

モニタリング部門 (業態横断チーム) 14

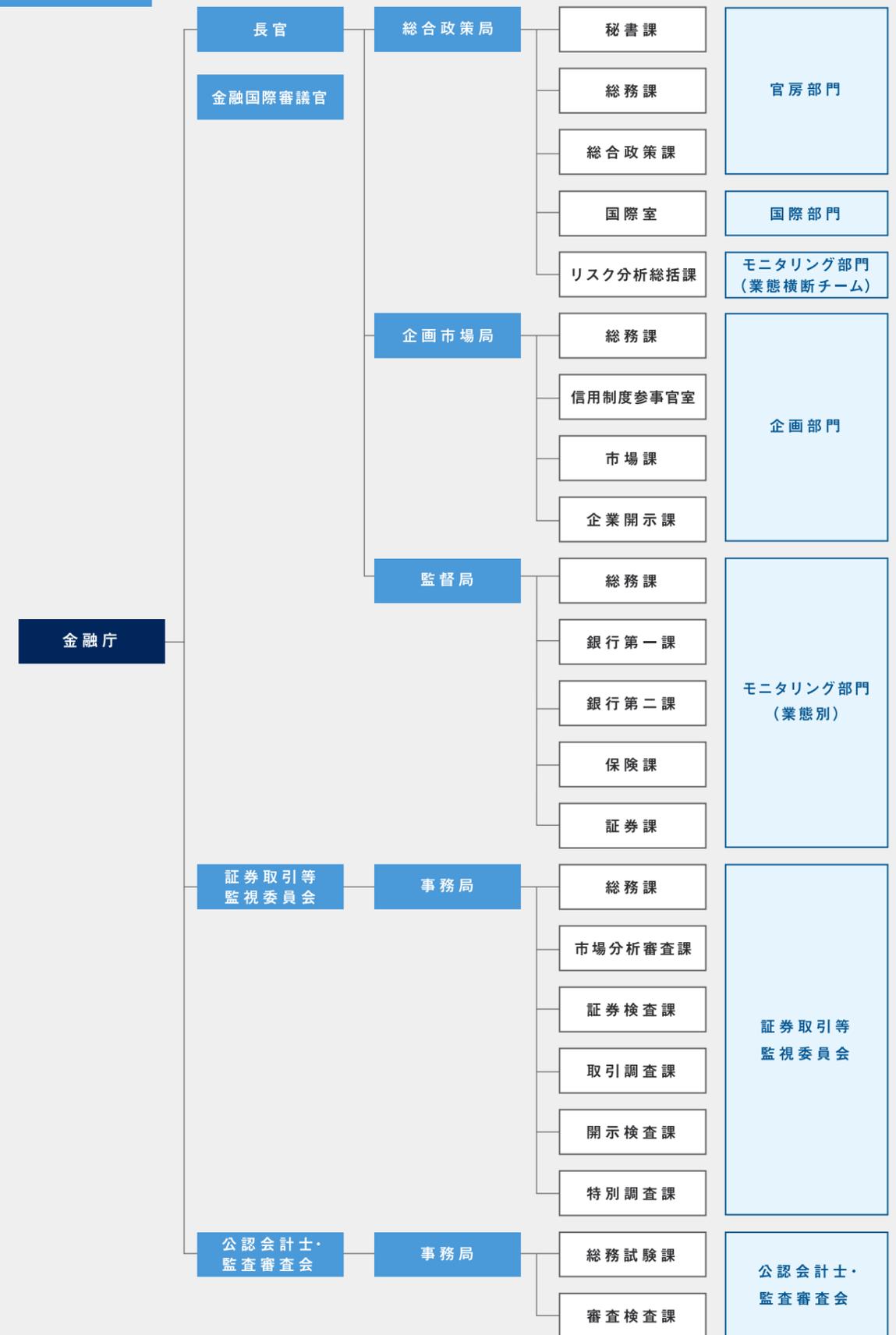
市場の番人として。

証券取引等監視委員会 16

適正な企業財務情報の開示へ。

公認会計士・監査審査会 17

# Organization Chart



## 官房部門

# 金融庁の 司令塔。

官房部門は、金融庁の業務が円滑に遂行されるよう、  
部局横断的な視点から、組織のマネジメントや  
全体的な政策決定等の業務にあたっています。

具体的には、予算・機構・定員・人事、システム整備等、中長期的な組織の在り方を  
考えるとともに、職員一人ひとりが「国益への貢献」を追求し、困難な課題にも主体的に  
取り組んでいく中で高いパフォーマンスを発揮出来るよう、組織の「縁の下の力持ち」と  
しての役割を果たしています。

同時に、金融庁全体の司令塔として、これからの日本の金融の在り方を見据えた金融  
行政の基本的・総合的な方針を策定するほか、金融行政の各分野に幅広く関係する  
業務(国会・官邸との連絡調整、広報、金融経済教育、金融税制の企画立案、サステ  
ナブルファイナンス、国際金融センター、金融デジタルイノベーション、EBPM等)の指揮・  
調整を行っています。

刻一刻と変化していく金融のフィールドにおいて、的確な行政対応を行うためには、  
組織としての力を最大限発揮することが重要です。職員一人ひとりの専門性を高めるこ  
とや、各部局の連携を強化することによって、組織の対応力を高めています。

## 総合政策局総合政策課 課長補佐

日本には約50種類の税がありますが、中でも金融業界や個人投資家に関するものについて、税制を所管する財務省・総務省に要望する業務に携わっています。税制が個人や企業の意識や行動に変革をもたらす場面もあるため、日本経済を活性化し、私たちの生活をより豊かにするためにどうすべきかといった視点で、望ましい在り方を検討しています。

家計の安定的な資産形成を支援する観点で導入された「NISA(少額投資非課税制度)」は、着実に利用者数を伸ばし、2021年末には1,700万口座を突破しました(一般NISA・つみたてNISAの合計)。20代・30代の方の口座数の増加も目覚ましく、「つみたてワニーサ」という公式キャラクター等も使って若いうちからコツコツ積立を行うことの大切さを説いてきた金融庁として、とても手応えを感じています。

金融庁は金融機関を厳しく指導しているというイメージをお持ちの方もいらっしゃるかもしれませんが、新しいアイデアを出しながら金融課題に取り組むといった側面も有しています。フレッシュな思考を持つ皆さまとともに働ける日を楽しみにしています。

成田 倫子  
NARITA Noriko

2014年  
入庁

### CAREER STEP

- 2014.4 監督局銀行第二課
- 2014.12 監督局総務課
- 2016.7 総務企画局市場課清算機関第一係長
- 2017.7 総務企画局市場課投資信託第一係長
- 2018.7 英・ロンドン大学クイーンメアリー校(留学)
- 2019.7 日本取引所グループ(出向)
- 2021.1 総合政策局総合政策課課長補佐(税制)

## Interview 01

## Interview 02

## 総合政策局総合政策課フィンテック室 総合政策調整官

牛田 遼介  
USHIDA Ryoosuke

2010年  
入庁

- 2010.4 総務企画局総務課信用制度参事官室
- 2011.7 総務企画局総務課調査室
- 2012.7 JETRO イスタンブール事務所 Director
- 2015.7 監督局総務課企画調整係長
- 2016.7 内閣府大臣政務官秘書官
- 2018.7 英・ロンドンビジネススクール(留学)
- 2019.7 米・ジョージタウン大(ブロックチェーン研究)
- 2021.7 総合政策局総合政策課フィンテック室  
総合政策調整官

### CAREER STEP

銀行や保険会社は金融庁が規制・監督を行っていますね。では、ビットコインも同様でしょうか? 保険商品であれば保険会社という「中央集権的なモノ」が組成・提供を行いますが、ビットコインには発行主体が存在しません。また、銀行送金を行う場合は銀行に送金を依頼する必要がありますが、ビットコイン送金はスマホウォレット等を介して個人間で誰の許可も取らずに行うことができます。

こういった、伝統的な金融システムにおける発行者や仲介者の存在を不要としつつ、送金や融資といった金融機能を提供する「分散型金融(DeFi)」と呼ばれるものが、近年急拡大しています。既存の規制アプローチが必ずしも通用しない可能性もあり、世界中の規制当局者が課題解決に向けた議論を始めています。

私の所属するフィンテック室では、これらの新たな技術がもたらすイノベーションとリスクの両面に着目し、モニタリングや法令部門と連携しつつ、調査研究や国際会議等の業務を行っています。日進月歩の技術やビジネスにキャッチアップするのは大変ですが、公共性が高く、かつイノベティブな仕事ができる職場は多くありません。皆さまの挑戦をお待ちしています。

# 国際部門

# グローバルに 課題解決を リードする。

## 国際部門は、金融分野における国際的な議論への貢献や海外当局とのネットワーク強化に取り組んでいます。

### 一 国際的な議論への貢献

グローバルに新型コロナウイルス感染症の影響が拡大する中、世界の金融システムが健全性を維持しつつ中長期的に実体経済を支えぬことを後押しするため、国際基準の実施時期の延期に合意する等、必要に応じて国際的に協調した対応を取ってきました。コロナ禍からの回復を目指す中では、国際的にも、金融デジタルイノベーション、サステナブルファイナンス等といった新しい課題への注目も高まっています。これらの課題について、金融庁は、銀行・証券・保険等あらゆる業態を監督しているという強みも活かしながら、国際的な議論をリードしています。

### 一 海外当局とのネットワーク強化

金融機関の活動がグローバル化し、海外当局との連携がますます重要となる中、コロナ禍においても、バーチャルなコミュニケーションにより、関係構築・深化に努めています。また、アジアを中心とした新興国等に金融インフラ整備支援を行い、各国の金融機能の強化に貢献することで、本邦企業や金融機関の海外におけるビジネスを支えています。加えて、新興国当局等の職員を研究員として我が国に招聘し、研修プログラムを提供していた金融連携センター(GLOPAC)を、コロナ禍でもバーチャルで開催し、さらなる“知日派”の育成に努めています。

## 総合政策局総務課国際室 国際保険規制調整官

昨今は各国の保険会社のビジネスの国際化・複雑化が進み、当局や保険会社が直面する世界共通の課題も増加する中で、保険監督に関する国際的な目線の策定・強化はますます重要になっています。国際室の保険チームの主要な仕事の一つは、こうした役割を担う国際機関である保険監督者保護機構(IAIS)での検討に参加・貢献することです。

IAISでは、「国際的に活動する保険グループ」に対する国際資本基準(ICS)の2024年の最終化に向けた作業が続けられ、また気候変動、デジタル化やサイバーリスク等に関する議論も活発化しています。私自身もIAISの委員会や作業部会にメンバーとして参加していますが、「交渉相手」であると同時に共通の課題に取り組む「同僚」でもある各国当局者との議論は大いに刺激になります。また、上記のテーマは、私が2021年まで所属していた監督局保険課での業務にも深く関わっており、「国際」「国内」を一体のものとして捉える視点はますます重要になっていると感じます。

2023年11月頃にIAISの年次総会を初めて日本で開催することが決定する等、日本のIAISとの関わりは今後ますます深まっています。少しでもピンと来た方、将来一緒に働けることを楽しみにしています。

楠本純  
KUSUMOTO Jun

2011年  
入庁

- CAREER STEP
- 2011.4 総務企画局総務課国際室
  - 2013.7 監督局総務課健全性基準室健全性基準第三係長
  - 2014.7 米・カリフォルニア大学ロサンゼルス校(留学)
  - 2016.7 国際通貨基金(IMF)(出向)
  - 2018.7 監督局保険課保険モニタリング室課長補佐
  - 2021.7 総合政策局総務課国際室国際保険規制調整官

## Interview 03

## Interview 04

田中美帆  
TANAKA Miho

2016年  
入庁

- CAREER STEP
- 2016.4 企画市場局市場課
  - 2017.7 総合政策局国際室
  - 2018.7 総合政策局リスク分析総務課フィテックモニタリング室総括係長
  - 2019.7 米・ペンシルベニア大学(留学)
  - 2020.7 米・イェール大学(留学)
  - 2021.7 総合政策局総務課国際室国際資金洗浄対策係長

## 総合政策局総務課国際室 国際資金洗浄対策係長

私は、マネー・ローダリング・テロ資金供与対策に関する国際交渉に関わっています。技術革新や政治情勢等に伴い刻々と変化するリスクに対応し、国境を越えた不正な資金のやりとりや、リスクの高い活動が規制の厳しい国から緩い国へ逃避することを防ぐためには、国際的な協調のもと全世界的に規制を実施していくことが重要です。

金融庁は、マネロン等対策の多国間枠組みであるFATF(金融活動作業部会)の暗号資産関連連合(コンタクト・グループ)議長として、各国当局や民間セクターとも連携し、特に暗号資産分野におけるリスクのモニタリング・ルール形成およびその実施をリードしています。私も、仕事を通じて金融のグローバルな性質や世界との繋がりを感じるとともに、決して受け身になることなく積極的にアジェンダを提案していく周囲の前向きな姿勢から日々多くを学んでいます。

金融外交と聞くとテクニカルに感じるかもしれませんが、私たちは、国際的な議論でリーダーシップを発揮し、世界の金融システムひいては経済の安定や発展に貢献したい、という熱い思いを根底に持って動いています。この思いに共感し、金融庁に関心を持ってくれたらとても嬉しいです。

## 企画部門

# 金融の最先端を考える。

### 企画部門は、日夜、法令をはじめとした金融制度の創設・改良を追求しています。

金融制度というと、銀行法や保険業法、金融商品取引法といった、金融機関の業務を律する法律がまず思い浮かぶのではないのでしょうか。これらは、金融機関の業務の適切性を確保することで金融サービスの利用者の保護を図るものであり、検査・監督を含む金融庁業務の根幹を成すものです。

同様に、金融市場の機能や魅力の向上も重要です。例えば、企業情報開示の充実等を含むコーポレートガバナンス改革や、企業の持続的な成長を促す証券市場構造の改革も、企画部門の主要な政策課題です。

また、フィンテック事業者によるモバイル送金の普及や、多様な金融サービスをスマートフォンでワンストップで提供する動き等に対応した規制の新設・見直しや、人口減少・少子高齢化に直面する地域の課題解決に貢献する役割が求められる地銀に対し、業務の選択肢を幅広く用意するため銀行の業務範囲規制の見直し等の法整備にも取り組んでいます。

あらゆる経済活動に付随する「金融」を所管する金融庁は、刻々と変化するその姿に目を凝らし、あるべき姿と必要な政策を模索し続けなければなりません。

### 企画市場局企業開示課 公認会計士第二係長

公認会計士や監査法人という皆さんにはあまり身近な存在ではないかもしれませんが。いわゆる上場企業は、自社の経営成績ともいえる財務諸表について、公認会計士や監査法人から「監査」を受け、その情報が信頼できるものと意見をもらいます。投資家は、「監査」を受けた企業の財務諸表を元に投資判断を行います。このとおり、投資家が安心して投資できる資本市場のために、公認会計士・監査法人は、必要不可欠な存在です。私はそんな彼らを監督する業務を担当し、彼らの実務の状況や課題を確認したり、業務を適正に行うため、あらゆるアドバイスを行ったりしています。

私は、信頼される資本市場を見据えた公認会計士・監査法人の制度を担う一員として、どんな課題があるか、どういふ制度の姿が望ましいのか等を日々考えています。会計のプロを相手にするので日々勉強しなければならないことも多いですが、このような業務は行政の立場だからこそ出来ることの一つではないかと思っています。

難しそう、専門的といったイメージを持つかもしれませんが、CMで見えるような企業の経営にも繋がる仕事なので、皆さんの生活にも身近で大事な役割を担っています。少しでも興味を持っていただけたら嬉しいです。



岩元 美映  
IWAMOTO Yoshie

2008年  
入庁

#### CAREER STEP

- 2008.4 公認会計士・監査審査会事務局審査検査室
- 2009.7 公認会計士・監査審査会事務局総務試験室
- 2010.7 総務企画局総務課副大臣室
- 2012.7 総務企画局総務課審判手続室
- 2014.4 育児休業
- 2016.5 総務企画局企業開示課公認会計士第四係長
- 2020.7 企画市場局企業開示課公認会計士第二係長

## Interview 05

## Interview 06

長谷川 正樹  
HASEGAWA Masaki

2017年  
入庁



- 2017.4 総務企画局政策課企画係
- 2018.7 総合政策局総合政策課企画係
- 2019.7 企画市場局市場課取引所企画第一係長
- 2020.7 企画市場局市場課市場調査第一係長
- 2021.7 企画市場局総務課  
デジタル・分散型金融企画室係長

#### CAREER STEP

### 企画市場局総務課 デジタル・分散型金融企画室係長

私は、デジタル・分散型金融分野を担当しており、いわゆるステーブルコインやDeFi(非中央集権型金融サービス)等について、調査・分析・企画立案を行っています。世界においてデジタル資産に関する社会実装の試みはボーダーレスに加速しています。他方で、利用者保護やマネー・ロンダリング対策等の経済・社会秩序において求められる責任を果たした上での、技術革新の社会実装でなくてはなりません。こうした「責任あるイノベーション」に向けて、ルールメイカーの立場から技術革新にアプローチしていくことが、今の仕事の醍醐味です。

また、上記以外にも入庁以来、庁内業務の効率化プログラム開発、金融取引データ分析に関する国際会議への参加等にも携わっており、当初は小規模な活動からスタートし、当時の河野太郎大臣(行政改革・国家公務員制度担当※当時)にもプレゼンする機会も得るほどの取組みになりました。

金融庁は、玉石混合の技術が急速に実装される、ある種混沌とした状況に、ルールメイカーとして最前線で向き合いながら、それらを秩序立てていくことが求められる職場です。そういった環境であるからこそ、様々なバックグラウンド・主義主張を持つ職員や関係者とともに、自分自身の専門性を磨き上げる必要・機会にも溢れています。就職活動で下した決断の答え合わせは短期的に出来るものではないと思います。選んだ進路を正解に出来るように人生の時間を懸けて挑戦する場として、金融庁が皆さんにとって魅力的であれば是非一緒に働きましょう。

## モニタリング部門 (業態別)

# 育成と 規制の バランスを考える。

モニタリング部門(業態別)は、文字通り、  
金融機関を業態ごとにモニタリングを行っている部署ですが、  
その業務は多岐に亘ります。

具体的には、法律に基づき金融機関の免許の付与、登録を行うほか、継続的に金融機関の情報を収集・分析し、金融機関の業務・財務の健全性が確保されているかモニタリングしています。また、仮に問題の兆候が見られた場合、予防的な対応を含め金融機関と対話をして対応を促すとともに、必要に応じて行政指導や業務改善命令等の是正措置を講じ、問題が深刻化する前に早期対応しています。

このようなモニタリング等を通じ、金融機関と最前線で向き合い、対話や是正措置も駆使しつつ、金融システムの安定/金融仲介機能の発揮や、利用者保護/利用者利便等に貢献していく部門です。

なお、その対象となる業態は、銀行、保険会社、証券会社、これら分野の金融サービスの仲介可能な金融サービス仲介業者、更には暗号資産交換業者等の新たな業態まで幅広く所管しており、様々な情報に触れて、経験を積むことが出来ることも魅力の一つです。

## 監督局銀行第二課地域銀行モニタリング室 審査分析第一係長

地域銀行を取り巻く環境は、人口減少・高齢化の進展に加え、コロナの影響や地政学的リスクの高まりもあり、大きく変化しています。こうした中でも、地域銀行は、将来に亘る健全性を確保し、地域において金融仲介機能を十分に発揮していくことが重要です。

私が所属している地域銀行モニタリング室では、地域銀行の経営状況やガバナンスについて、徴求資料の分析やヒアリング、立入検査を組み合わせて日々モニタリングを行っています。検査というと、強面の検査官が銀行に対し厳しく指導するというイメージがあると思いますが、もちろん、時には必要に応じて厳しい対応が求められる場面もありますが、現在は、金融庁と地域銀行との間で十分な対話を行い、双方の意思疎通と適切な認識共有を図りながら検査を実施しています。

私は、検査官を後ろから支える立場として、モニタリングの企画立案や検査の品質管理に関する業務を担当しています。これらの業務は常に全体を見ながら仕事を進めていく必要があり、大変なことも多くありますが、難題を乗り越えた時のやりがいは大変得難いものとなっています。少しでも興味を持ってくださった方は、是非金融庁に足を運んでみてください。



向後 貴敏  
KOGO Takatoshi

2005年  
入庁

### CAREER STEP

- 2005.4 監督局総務課
- 2008.7 監督局銀行第一課
- 2009.7 総務企画局政策課
- 2011.7 総務企画局総務課
- 2013.7 監督局総務課協同組織金融室
- 2015.7 監督局総務課金融会社室企画調整係長
- 2017.7 総務企画局総務課総務係長
- 2018.7 総合政策局秘書課給与第一係長
- 2021.7 監督局銀行第二課地域銀行モニタリング室  
審査分析第一係長

## Interview 07

## Interview 08

佐野 晶子  
SANO Akiko

2011年  
入庁



- 2011.4 総務企画局総務課
- 2013.7 監督局保険課
- 2015.7 総務企画局政策課
- 2017.7 総務企画局企画課保険企画室損害保険係長
- 2019.7 警察庁刑事局組織犯罪対策部  
組織犯罪対策企画課国際第四係長
- 2021.7 監督局証券課第二種金融商品取引係長

### CAREER STEP

## 監督局証券課 第二種金融商品取引係長

私が所属している証券課では、証券会社等のモニタリングを行っております。中でも、私が担当している第二種金融商品取引業者は、株式や社債ではなく、信託受益権やいわゆる「ファンド」の持分等、形のない「みなし有価証券」を扱う業者です。

第二種金融商品取引業者は、近年、クラウドファンディングにより、太陽光発電や、地域創生への出資を募る等、多種多様な商品が組成されており、新規・成長企業へのリスクマネー供給の手段として一定の役割を果たすようになってきています。そのため、個人投資家にも注目されてきていますが、制度としてはまだ若い分野であり、残念ながら詐欺的な行為に悪用される事例もあります。

リスクマネー供給の手段としての役割と規制の両立を図るよう、日々刻々と変化する情勢と向き合いながら、規制とモニタリングの在り方を模索しています。

金融は専門性が高いというイメージが先行しますが、一言で金融と言っても様々な分野があり、我々が全ての分野に精通しているわけではありません。金融庁ではキャリアパスが固定的でないため、一人ひとり自分の専門分野を切り開くことが出来る点も魅力だと感じています。

## モニタリング部門 (業態横断チーム)

# 専門性を 活かした モニタリング。

AIU	1,822	12,349,000
EJK	3,680	238,681,000
HRL	1,062	85,678,000
KEE	485	8,369,000
NAH	8,569	189,301,000
QOP	6,602	102,679,000
TIK	890	24,697,000
WIG	6,280	76,002,000

### モニタリング部門(業態横断チーム)は、金融システム全体に 広がるリスクに対応するために、多角的な視点からモニタリングを実施しています。

金融庁では、複雑化する金融システムと向き合って対応していくために、金融機関の経営に関するデータや市場動向・経済情勢等を十分に分析することに加え、弁護士や会計士を含めた業態横断的な専門チームをカテゴリー別に編成し、多角的な観点からモニタリングを実施しています。

一つの例として、近年の国際情勢を踏まえた経済・金融制裁を巡っては、制裁それ自体はもとより、国際的な商品市場・金融市場への影響も踏まえた金融システムへの影響分析、サイバーセキュリティ上の脅威の高まりへの備え、暗号資産を用いた制裁への迂回防止等について、総合的な対応が必要になっています。

また、足もとも、経済安全保障や金融機関としての気候変動リスクへの対応といった、新たに横断的に取り組むべき主要な課題が生じています。

金融庁は、多くの諸外国と異なり、銀行業・保険業・証券業のみならず、資金移動業や暗号資産交換業等も所管する「一元監督当局」であり、その特徴、強みを活かし、今日も金融システムに向き合っています。

## 総合政策局リスク分析総括課 マネーロンダリング・テロ資金供与対策企画室

「マネー・ロンダリング」「マネロン」という言葉を聞いたことはありますか。一般に、犯罪によって得た収益を、その出所や真の所有者がわからないようにして、捜査機関による収益の発見や検挙を逃れようとする行為を指します。金融サービスを悪用して、犯罪者やその組織に資金が渡ることになれば、更なる犯罪行為やテロ行為を助長することになりかねません。

金融庁では、犯罪収益移転防止法や当庁が公表している「マネロン・テロ資金供与対策ガイドライン」に沿って、官民一体の取組みとして、金融機関におけるリスクに応じた態勢整備の構築を進めています。また、2021年8月にはマネロン等対策のための国際基準の策定・履行を担う多国間の枠組みである金融活動作業部会(FATF)より、第4次対日相互審査結果が公表されました。この結果を受け、関係課室、他省庁とも連携して、政府として更なる対策強化に取り組んでいるところです。

非常にスケールが大きく専門性の高い分野ですが、最初の動機は、少しの関心からスタートするものだと思います。この文章を読んで少しでも関心を持っていただければ幸いです。

綾田 宏成  
AYAITA Hiroaki

2017年  
入庁

CAREER  
STEP

2017.4 監督局保険課  
2018.7 監督局保険課保険商品室  
2019.7 総務企画局リスク分析総括課  
サイバーセキュリティ対策企画調整室  
2021.7 総合政策局リスク分析総括課  
マネーロンダリング・テロ資金供与対策企画室

Interview 09

## Interview 10

## 総合政策局リスク分析総括課 コンダクト企画室 リスク性金融商品販売モニタリングチーム

平井 美輝  
HIRAI MIKI

2017年  
入庁

2017.4 監督局証券課  
2019.7 企画市場局市場課市場機能強化室  
2021.7 総合政策局リスク分析総括課コンダクト企画室  
リスク性金融商品販売モニタリングチーム

CAREER  
STEP

金融機関等では、投資信託等の金融商品を販売しています。金融商品は形が見えないので、その商品の実態は、顧客にとってわかりにくいものです。そういった金融商品を販売する際、金融のプロフェッショナルである金融機関等は、顧客に対して、責任を持って商品を提供しなくてはなりません。私の所属する部署では、金融機関等が金融商品を提案する際、プロフェッショナルとして、金融機関等本位ではなく、顧客本位で、顧客にとって最善の利益を提供しているのかということを様々な観点でモニタリングしています。また、顧客本位の業務運営の浸透・定着に向けた施策の立案も行っています。

顧客本位の業務運営の浸透・定着という終わりのないゴールを追求することは、容易なことではありませんが、真に顧客のためになっているのか、経験豊かな上司や先輩の胸を借りて、共に考え抜くことが出来る点が、この業務の魅力です。この立場だからこそ出来ることは何かと考えながら、日々業務に取り組んでいます。真に顧客、投資家、ひいては国民のためになっているのか、一緒に考え抜くことが出来る方を、お待ちしております。

# 証券取引等 監視委員会

# 市場の 番人として。

証券取引等監視委員会では、証券市場の公正性・透明性を確保し、投資家を保護することを使命として、市場監視に取り組んでいます。具体的には、証券会社等に対するモニタリングの他、日常的な市場監視等から得られた情報を分析・審査し、その結果を踏まえて、インサイダー取引や相場操縦等の不正取引や有価証券報告書の虚偽記載などの調査・検査を行っています。

## Interview 11



原由布子  
HARA Yuko

2012年  
入庁

- 2012.4 検査局総務課
- 2014.7 証券取引等監視委員会事務局総務課
- 2015.7 総務企画局総務課
- 2018.7 証券取引等監視委員会事務局取引調査課
- 2019.7 証券取引等監視委員会事務局取引調査課
- 国際取引等調査室証券調査官
- 2021.7 証券取引等監視委員会事務局総務課情報交換係長

### CAREER STEP

## 証券取引等監視委員会事務局 総務課情報交換係長

証券市場のグローバル化により、海外当局と連携する機会が増える中、私は、海外の投資家や機関投資家による不正取引等に関し、調査に必要な情報を、海外当局と円滑に交換出来るよう関係者と調整する業務を主に担当しています。

業務に取り組む中では、高度な専門知識が必要となる等、苦労することもあります。証券取引等監視委員会には、金融実務経験者や弁護士等の専門家が多数在籍しており、様々な面でサポートしてくれます。さらに、OJT研修制度により、若手職員を中心に、ベテラン職員の支援の下、実務経験を積むことが出来るため、専門知識に自信がない方でも、好奇心・向上心があれば、十分に成長できる職場です。

証券分野に少しでも興味がある方は、是非金融庁にお越しください。

# 適正な 企業財務情報の 開示へ。

# 公認会計士・ 監査審査会

公認会計士・監査審査会では、監査品質の向上と信頼性の確保を目的として監査事務所に対するモニタリング、公認会計士試験、諸外国の監査監督当局との協力・連携等に関する業務を行っています。

## Interview 12



宮内詩乃  
MIYACHI Shino

2012年  
入庁

- 2012.4 証券取引等監視委員会事務局総務課
- 2013.7 証券取引等監視委員会事務局証券検査課
- 2014.7 総務企画局総務課国際室
- 2016.7 公認会計士・監査審査会事務局総務試験室
- 2017.4 育児休業
- 2020.6 公認会計士・監査審査会事務局審査検査課調査企画係長

### CAREER STEP

## 公認会計士・監査審査会事務局 審査検査課調査企画係長

私は監査事務所に対するモニタリングに活用するための監査事務所や上場企業に関する情報の収集・管理を担当しています。多様な情報がデータとして蓄積されていますので、より効果的なモニタリングを実施するために、更に有効活用することが出来ないか考えながら業務に取り組んでいます。

また、公認会計士・監査審査会には多様なバックグラウンドを持つ職員が在籍しており、担当の垣根を超えたプロジェクトチームを組んで業務に当たることもあります。「モニタリングレポート」の作成もその一つで、公認会計士をはじめとする専門家の方々と協力して、監査業界や公認会計士・監査審査会のモニタリング活動の状況等を資料集のようにまとめて公表しています。是非読んでみてください。

実効性のあるモニタリング活動のために職員が日々議論して力を尽くしていますので、皆さんと一緒に仕事が出来るとの楽しみにしています。

# 金融庁職員の キャリアを知る

## Career Path - Contents -

- 20 係長×係員 対談
- 22 課長補佐
- 24 室長



係長×係員 対談 - 20  
銀行第一課職員のとある一日 - 21



キャリアインタビュー 01  
課長補佐 - 22



キャリアインタビュー 02  
課長補佐 - 23



キャリアインタビュー 03  
室長 - 24

**肥後 由希子** — 2021年入庁  
監督局銀行第一課企画係

**菅野 泰史** — 2019年入庁  
監督局銀行第一課企画係長

**脇 裕司** — 2002年入庁  
企画市場局総務課  
信用制度参事官室課長補佐

**池田 友理** — 2013年入庁  
総合政策局総務課  
国際室課長補佐 (国際企画)

**桑田 尚** — 2004年入庁  
総合政策局総合政策課  
総合政策企画室長 兼 資産運用高度化室長

### 入庁

### 係員

### 係長

### 課長補佐

### 幹部職員



新入職員に聞いてみました - 32

**反畑 優哉** — 2021年入庁  
総合政策局  
リスク分析総括課  
検査監理官 G

**白石 あずさ** — 2020年入庁  
総合政策局  
IFIAR 戦略企画本部  
IFIAR 戦略企画室

ワークライフバランス  
若手職員の声 - 30

**小島 啓治郎** — 2003年入庁  
総合政策局  
秘書課課長補佐

ワークライフバランス  
推進担当者より - 30

- 26 出向について
- 28 国内・海外留学について
- 30 ワークライフバランス
- 32 研修制度

### 出向について - 26



**深見 健太** — 2009年入庁  
経済協力開発機構 (OECD) 事務局

**中山 健** — 2019年入庁  
日本銀行金融機構局  
金融第一課

**熱田 優季** — 2017年入庁  
福岡財務支局理財部  
金融監督第一課

### 国内・海外留学について - 28



**川井 大輔** — 2018年入庁  
カーネギーメロン大学  
工学研究科 博士課程

**加瀬 達大** — 2017年入庁  
ロンドンビジネススクール  
経営学 (MBA) 専攻

**土屋 あんな** — 2017年入庁  
慶應義塾大学大学院  
メディアデザイン研究科

### ワークライフバランス - 31



**関口 宥人** — 2015年入庁  
総合政策局リスク分析総括課  
情報・分析室情報調整係長

**松本 亜衣** — 2013年入庁  
監督局銀行第二課  
地域金融企画室課長補佐

### 自主的な政策提言 - 33

**百瀬 蓮** — 2021年入庁  
公認会計士・監査審査会事務局  
総務試験課

## 係長×係員 対談



# Talk Session

## 銀行第一課

### お二人の現在の仕事を教えてください。

**菅野**：銀行第一課では、主要行やネットバンクの監督や、銀行業界全体に関わる各種施策を担当しており、企画係はまず、その取りまとめや他課室との連携・調整を行っています。課の内外と密にコミュニケーションを図ることで、政府全体あるいは全庁的に行われる様々な作業に効率よくかつ丁寧に対応するよう心がけています。その他、例えば外国人による金融サービス利用の利便性向上等、中長期的ないくつかの施策についても日々取り組んでいます。また、担当している銀行とは、日頃から対話を積み重ねています。

**肥後**：私は、主に課の窓口担当として、他課室や業界団体との調整や、銀行との定例の意見交換会の準備を行っています。また、担当する銀行からの届出の受理や、各種ヒアリングの議事録作成等を担当しています。庁内外の様々なステークホルダーと関わる業務が多く、入庁当初は電話が鳴るたびにビクビクしていましたが、菅野さんはじめ上司の方から、小さなことにも目を配り日頃から相手と信頼関係を築くことで、スムーズに案件を進める姿勢を学び、調整業務にも徐々に慣れることが出来ました。

### この1年間で最も印象に残っている仕事は何ですか？

**肥後**：特に一つこれというものはありませんが、1年を通して銀行業界と庁内との調整に携わり、粘り強く案件を進める点は非常に成長したなと思います。例えば、金融機関が金融庁・日本銀行・業界団体それぞれに提出している同様のデータについて、提出先を一つにまとめようとする取り組みがあり、私は業界団体の一つと庁内のシステム担当部署を繋ぐ立場として関わっています。それぞれデータの取扱いや用途が異なる中、一元化への道筋は容易ではありませんでしたが、一つひとつ丁寧に認識をすり合わせ、4月からの開始に漕ぎ着けました。1年目から責任のある仕事を任せてもらい、達成感も大きかったですね。

**菅野**：肥後さんは確かに、1年目ながら他省庁・他課室の課長補佐・係長ともバシバシやり合っていて、いつも熱いですよね。数百ページある「監督指針」の英訳作成作業でも、大勢の関係者を取りまとめられて、大変そうでした。



### 監督局銀行第一課企画係長

**菅野 泰史**

KANNO Yasufumi 2019年入庁

- 2019.4 総合政策局総合政策課企画係
- 2020.7 総合政策局総務課国際室国際企画係
- 2021.7 監督局銀行第一課企画係長



### 監督局銀行第一課企画係

**肥後 由希子**

HIGO Yukiko 2021年入庁

- 2021.4 監督局銀行第一課企画係

**肥後**：庁内の色々な方々にご協力をお願いしましたが、皆さん快活してくれて、大変ありがたかったです。

**菅野**：お疲れ様でした。私はやはり、監督業務に実際に携われたのが、大変貴重な経験でした。監督といっても、(自慢できる話ではありませんが、)各分野の専門知識では銀行の方にすぐには太刀打ちできません。そのため、日々自分でも勉強するとともに、銀行の方にも教えていただきつつ、他方で必要な指摘をしっかりと行うなど、密に連絡させていただいています。金融機関の革新的なサービスによって実際に顧客の利便性が向上したり、社会経済に良い影響を与えたりすることを具体的に見られて、金融庁で働く意欲が高まりました。

### 金融庁での働き方・職場の雰囲気について、どのように感じていますか？

**肥後**：銀行第一課は、テレワークも日常的に取り入れていますし、オンライン懇親会も毎月開催され、役職や年次を問わず話しやすい環境です。幹部とのタウンミーティングを企画し、より良い働き方やキャリアプランについて率直な意見交換を行う等、風通しも良いです。どんなに忙しい時でも殺伐とはせず、ちょっとした冗談を言い合う余裕を感じるので、良い雰囲気です。係内でも密に連携しており、小さな悩みもすぐチャットで気軽に相談出来ますし、私が少し遅くまで残っていると、菅野さんが「それは明日やればいいよ!」と声をかけてくれる等、無理せず楽しく働いています。

**菅野**：私は金融庁で1年近く働いてからコロナの世の中を迎えました。金融庁はもともと働き方改革や業務効率化が進んだ役所だと感じていましたが、やはりコロナ対応モードになってからの変化は特に凄まじく、幹部へのオンラインでの説明等テレワークをしやすい環境の整備や、ペーパーレス化、係長・係員の負担軽減といった取り組みが次々行われてきました。今では課内の業務改善打合せでも、環境への不満や改善点がほとんど出なくて困るくらいです。例えば、入庁した頃は会議のたびに相当な量の資料を印刷した記憶がありますが、この1年はほとんど紙を使いませんでした。組織全体としてそうした方向へのコミットが明確だと思います。

### 最後に、学生へのメッセージをお願いします。

**肥後**：学生の頃は、ドラマの影響もあり、金融庁に対して「お堅い、怖い、偉そう」というイメージがありましたが、入庁早々そういったイメージは完全に払拭されました。金融庁で働く職員は、バックグラウンドも様々に多様に富んでいます。総じて芯がしっかりした人が多い印象です。時折、一緒に働く職員の金融に対する熱い思いや、各々の役人道に触れると、刺激を受けますし、純粋に「カッコいい」と思います。金融に少しでも興味のある方や、世の中を良くしたいという熱い思いを内に秘めた方は、是非一度金融庁を訪れてみてほしいと思います。

**菅野**：金融庁は、特にこれから入って来られる皆さんにとって、働きやすい良い環境です。幹部・先輩職員が若手の成長や働きやすさに配慮してくれて、若手のいわゆる「雑用」も減るなど、働き甲斐を感じられる職場だと思います。1年目でも幹部説明に参加しますし、普段から遠慮なく思ったことを発言出来ます。また、「金融」と聞いて具体的なイメージが湧かなくても、話を聞いてみると意外な程幅広い領域を扱うことに驚くと思います。官庁志望の方も、民間企業を中心に見ている方も、まずは話を聞きに来てみてください!



## 銀行第一課係員のとある一日 One Day Schedule

今日はテレワーク。パソコンを開いたらまずは担当する案件や金融機関に関する報道をチェック。気になる報道があれば関連資料を集めたり、銀行に問い合わせたり。

### 出勤

10:00

### 朝食

10:30

### 調査・資料作成

午後の幹部説明に向けて、主要行の決算概要をスライドにするよう指示があり、過去のスライドをもとにしつつも、出来るだけ見やすくなるよう工夫を凝らす。作成したら課長補佐にメールで送付、ほとんど直しが入らず一安心。



### 電話

いただいた規制改革要望への回答について、関係省庁の担当者と公用の外線通話アプリで電話。様々な制約の中で、出来る限り提案者に寄り添った前向きな回答が出来るよう、調整を行う。最初は厳しい反応だった先方も、最後には積極的に検討してくれることに。

### 作業依頼対応

13:00

### 電話

14:00

業界団体、金融庁のトップが顔を合わせた定例の会議。会議の事前準備や資料の取りまとめを担当しているため、無事に終わるまでハラハラ。最近はオンライン開催なので、接続状況にも気を遣う。

午後5時に来ていた各種作業依頼を精査、課内の各担当者に依頼する。課内の人たちが取り組みやすいよう、簡潔かつわかりやすく依頼するよう気を付ける。が、割振り違いをすぐ(優しく)指摘され慌てる。

### 銀行とのミーティング

16:00

### 最後のひとしごと

17:00

担当する銀行の新規ビジネス案について、オンラインで意見交換。銀行のためにも、顧客のためにも、是非成功してほしいアイデア!

色々なところから、遅い時間まで次々と依頼が来る。翌日すぐ対応してもらえよう、出来るだけその日のうちに課内の各担当者に依頼。よし、明日は登庁なのでそろそろ退勤しよう。

### 英会話研修

19:00

20:00

ちょっと休憩して、週に一度のオンライン英会話。研修が始まった当初は思うように言葉が出なかったが、継続するうちに段々と会話が続くようになってきた。

## 企画市場局総務課 信用制度参事官室課長補佐

### 脇 裕司

WAKI Yuji 2002年入庁

- 2002.4 総務企画局総務課国会連絡室
- 2005.8 監督局証券課
- 2007.7 総務企画局政策課
- 2008.7 総務企画局総務課管理室管理係長
- 2010.7 監督局保険課生命保険第二係長
- 2011.7 検査局総務課金融証券検査官
- 2011.11 内閣府(出向)
- 2012.4 東京大学大学院法学政治学研究所  
法曹養成専攻(留学)
- 2015.4 総務企画局政策課  
情報公開・個人情報保護第三係長
- 2015.7 監督局保険課法務係長
- 2016.7 監督局保険課財務基準第一係長
- 2017.7 総務企画局企画課調査室課長補佐
- 2019.7 企画市場局総務課  
信用制度参事官室課長補佐



## 総合政策局総務課 国際室課長補佐(国際企画)

### 池田 友理

IKEDA Yuri 2013年入庁

- 2013.4 監督局銀行第一課
- 2014.7 監督局証券課証券モニタリング室  
兼 証券取引等監視委員会
- 2015.7 日本銀行(出向)
- 2017.7 監督局総務課企画調整係長
- 2018.7 米・ロチェスター大学(留学)
- 2020.7 総合政策局総務課  
国際室課長補佐(国際企画・国際保険)
- 2021.7 総合政策局総務課  
国際室課長補佐(国際企画)



## 銀行の業務や行為規制に関する法令の企画立案

### 担当している仕事を教えてください。

銀行の業務や行為規制に関する法令の改正や解釈を担当しています。

2021年の通常国会で成立した銀行法等の改正に当たっては、有識者会議の運営から法律案の立案、国会審議への対応、政令や省令の策定といった仕事を担当しました。絶えず期限に追われる忙しい日々でしたが、法律改正に関する一連の仕事をやり遂げたことで知見が深まるとともに、達成感を得ることが出来ました。

日常的には、銀行に求められる規制の在り方の見直しを踏まえた法令改正や、他の法令の改正に伴う銀行法令の改正作業、庁内外から寄せられる銀行法令の解釈に関する照会への対応等を行っています。常に銀行法令と向き合い、勉強の毎日を過ごしています。

### これまでで最も印象に残っている仕事は何ですか？

数多くありますが、法律のように形として作り上げた仕事や、忙しかった仕事、失敗した仕事、特に印象に残っています。

例えば、私は2011年秋に内閣府(後に復興庁)に出向し、(株)東日本大震災事業者再生支援機構の設立に携わりました。初めての出向でしたので戸惑いもありましたが、関係省庁や民間金融機関からの出向者とともに働く多様性のある職場で、被災地の復興の力になりたいとの想いを皆で共有し、忙しいながらも会社を設立した仕事は印象に残っています。

また、仕事とは少し異なりますが、法科大学院に留学する機会もいただき、若い学生に交じて勉学に励む日々も貴重でした。その際に得られた知識や素養は、現在の仕事にとっても役立っています。

### 学生へのメッセージをお願いします。

官庁はそれぞれ、仕事内容だけでなく、人も文化も職場環境も異なります。

金融庁は、幹部を筆頭に組織の在り方や働き方を不断に見直し、若手を含めて職員が輝ける職場作りに取り組んでいます。国家公務員としてこれから少くない日々を過ごす職場ですから、百聞は一見に如かず。是非一度、ご自身の目で、金融庁の人や文化や職場に触れてみてください。このパンフレットをご覧になったことを一つのきっかけに、ともに働く仲間になれば幸いです。

## サステナブルファイナンスに関する国際的な枠組み作り

### 担当している仕事を教えてください。

SDGsやESGが目目される中、持続可能な社会の実現に向けた「サステナブルファイナンス」の重要性が高まっています。このサステナブルファイナンスに関する国際的な枠組み作りには貢献するのが私の仕事です。具体的には、脱炭素社会に向けた移行を促すため、金融当局や金融機関がどのような役割を果たすことが出来るか、必要なアプローチや開示・リスク管理の在り方は何か、といったことを、G7やG20、FSB(金融安定理事会)等の国際会議で議論しています。また、気候変動以外にも、生物多様性やダイバーシティ等、サステナビリティに関する課題は尽きません。そしてこれらは皆、国際社会が一丸となって解決に向けて尽力することが必要な課題です。最前線の国際的な議論を国内に還元し、必要な政策を関係者と議論しながら、こうしたグローバルな課題解決のための国際協力を進めています。

### これまでで最も印象に残っている仕事は何ですか？

一つを選ぶのはとても難しいのですが……最近では、2021年11月に英国グラスゴーで開催された、COP26(第26回気候変動枠組条約締約国会議)に日本政府代表団の一員として参加したことです。200に及ぶ国々から、首脳や著名人、政府機関や国際機関、産業界・金融界が一同に集まって、会場のそこかしこで熱く議論する姿が印象的でした。市民団体の方々も多く参加し、一人ひとりの声や思いが未来を作っていく、というダイナミズムを肌で感じられた経験となりました。同時に、普段何気なく言葉にしている抽象的な「国際社会」というものを実体として感じ、そうした「国際社会」の中で、行政官としてどうあるべきか、自分自身に改めて問いかける契機となったよい経験です。

### 学生へのメッセージをお願いします。

金融は、企業や人、国を繋ぐインフラでありツールです。また、日タイノベーションが起こっている分野でもあります。金融を通じてみる世界はどこまでも広く、考えもつかなかった仕事や人々に出会えることもあります。色々なバックグラウンドを持った職員が働いていること、サステナブルファイナンスをはじめ、様々な国際会議の議長を金融庁の職員が務め、国際的な議論をリードするやりがいを感じることが出来るのも金融庁の魅力の一つです。10年後、20年後に誇れる社会とするために、金融が果たす役割を信じて、皆さんの前にある様々な選択肢から金融庁を選んでもらえたら、とても嬉しいです。

総合政策局総合政策課  
総合政策企画室長 兼  
資産運用高度化室長

桑田 尚

KUWATA Hisashi 2004年入庁

- 2004.4 監督局総務課金融危機対応室
- 2005.7 監督局銀行第一課
- 2006.7 公認会計士・監査審査会事務局  
総務試験室総務第一係長
- 2007.7 英・ロンドン大学クイーンメアリー校(留学)
- 2008.7 英・LSE(留学)
- 2009.7 総務企画局政策課企画第一係長
- 2010.7 総務企画局企画課調査室課長補佐
- 2011.7 在ブリュッセル・欧州連合  
日本政府代表部(出向)
- 2014.7 総務企画局総務課国際室課長補佐
- 2017.7 総務企画局政策課課長補佐(税制)
- 2018.7 ㈱産業革新機構(出向)  
※2018.9より㈱産業革新投資機構
- 2019.7 監督局銀行第一課銀行監督調整官
- 2020.7 総合政策局総合政策課  
総合政策企画室長  
※2021.8より、兼 資産運用高度化室長



これまでで印象に残ったポストについて、業務内容とやりがいを教えてください。

それぞれのポスト・業務において、「これは、一体どう解決すればいいのだろう。絶対無理。」と頭を抱える難題に直面することも多く、苦労しましたが、その都度、上司やチームに支えられて、何とか乗り切ってきました。振り返ってみれば、その一つひとつの経験が成長機会だったと思います。ここでは、そうした経験を2つご紹介します。

国際業務

高校・大学時代に、留学経験があるわけでもなく、外国人の友人がいたわけでもない私は、どちらかと言うとドメスティックな人材として入庁したのですが、たまたま2年間の英国留学、3年間のブリュッセル勤務(EU代表部への出向)の機会を得ました。

ブリュッセル時代は、欧州債務危機の真只中で、マーケットが欧州の一手一投足に注目している重要な時期でしたので、欧州各国の財務・金融監督当局者にアプローチし、内部の状況を聞き出しながら、頻りに議論を交わしました。外国人と議論することにも慣れてきた頃、帰国して、国際室の課長補佐として着任。バーゼル委員会の部会メンバーとして、国際会議・交渉に参加するようにもなりました。20数カ国が参加する議論の場で、日本代表として各国と立場が異なり、四面楚歌になった場面もありました。他の議題との合わせ技で、何とか日本として受け入れ可能な結論へと導くことが出来たものの、非常に緊張が走った瞬間でした。

金融分野は国際的な議論や動向と切り離せるものではなく、国際室でなくても、海外当局と英語で議論する機会は多くあります。入庁前とは大きく異なる自分が今存在するのですが、皆さんも入庁後に全く想像していない成長を遂げたご自身に出会えるかもしれません。金融庁は、そういう成長機会を与えてくれる職場だと思います。

国際金融センター

2020年12月の経済対策において、「国際金融センター」の実現に向けた政策パッケージを盛り込みました。海外の資産運用会社やスキルの高い運用人材の国内参入促進に力点を置いたものであり、運用資産の拡大・各種コストの低下や業界全体の能力向上を通じて、投資家への利益還元増加、ひいては持続的な経済成長を実現することが狙いです。

誘致強化に当たって取り組むべき課題は、金融庁が所掌する資産運用会社の登録審査手続きだけでなく、税、ビザ、住宅、医療、教育等多岐に亘ります。政策立案に当たって最初にしたことは、まず課題の洗い出しでした。官邸より、金融庁が全ての議論をリードして取りまとめるようにとの話もあり、外国人が多く勤務する企業、行政書士事務所、海外事業者の参入を支援する企業、インターナショナルスクール等を訪ねてインタビューをしたほか、香港のファンドからも意見を聞きました。その結果を踏まえて、各省庁とも議論し、制度の見直しや情報発信の強化に協力してもらうことになり、省庁横断的な政策パッケージを作り上げることが出来ました。

金融はあらゆる分野に関わりがあり、他省庁と連携する機会も多くあります。積極的に外に出て、政府一丸となった大きな構想を打ち立てる経験を、是非皆さんにもしていただきたいと思っています。

金融庁全体の議論をリードし、  
施策のグランドデザインを描く

現在取り組んでいる仕事を教えてください。

金融庁全体のアクションプランである「金融行政方針」の策定や、政府として閣議決定される「成長戦略」「経済対策」の取りまとめなど、金融庁全体が関係する議論をリードし、成果物へと繋げていく役割を担っています。

変化が激しく先が読めない今の世の中は「VUCA時代」と呼ばれることもあります。金融機関を巡る環境や金融資本市場の目まぐるしい変化に対応する金融行政にとっては、今に始まった話ではなく、常に難易度の高い新たな課題への挑戦が求められます。こうした中で、各分野の政策課題や対応策を網羅的に把握した上で、優先順位をつけながら、グランドデザインを描く業務は、とても骨の折れるものですが、チーム一丸となって、組織としてのパフォーマンス最大化のために、日々奮闘しています。また、資産運用高度化室として、投資商品のコストやリターン等をデータで詳細に分析し、顧客本位の観点から資産運用会社に求められる対応や投資商品としてのあるべき姿を追求するという業務も行っています。

Message  
学生へのメッセージ

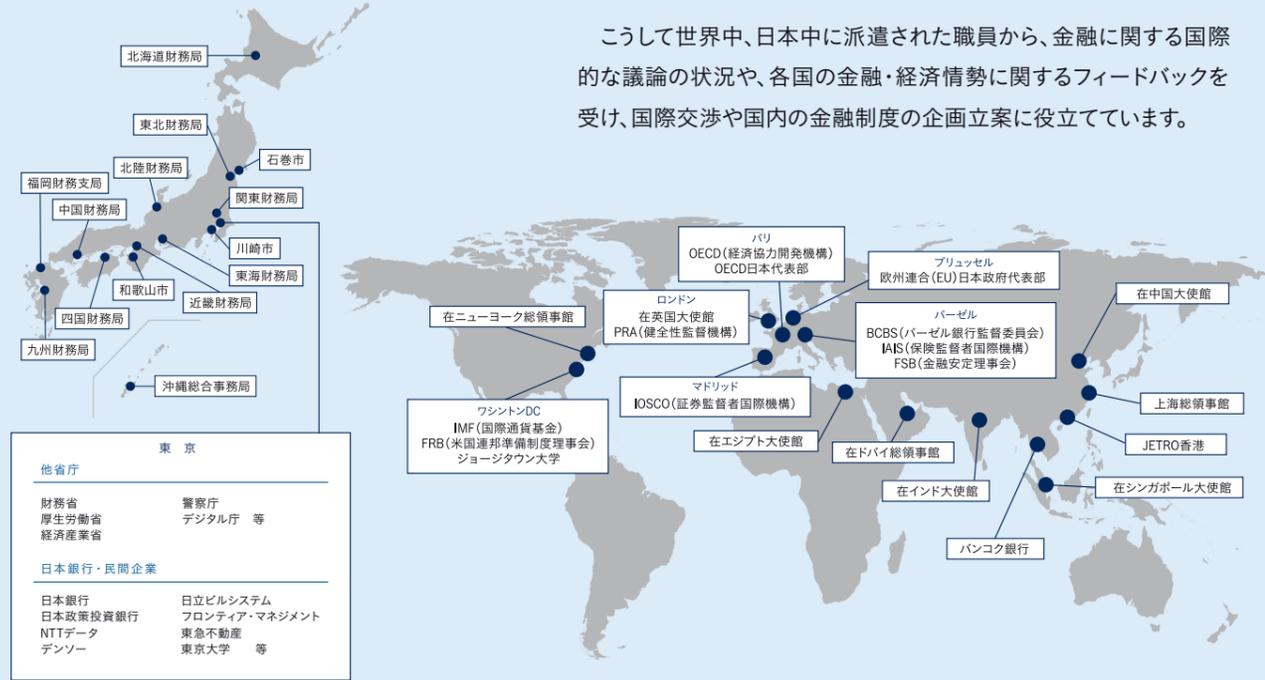
今、皆さんは、就職活動という人生の大きな節目において、選択の時を迎えています。最後に出来るだけ納得のいく選択となるよう、多くの人の話を聞き、大いに悩み、しっかりと考えてみてください。仕事を始めると、なかなか思い通りにいかないことも多くあります。先が見えない難題に直面する時、自分の立ち位置が定まらない時、全く異なる利害関係者間の意見調整を行わなければならない時。大事な仕事ですから、大変なことも多いわけですが、そういう時はいつも「自分が就職活動で納得して決めた道だから。」と自分自身を鼓舞し、前を向くようにしています。これが仕事への原動力となり、前向きに取り組むからこそ、やりがいや自分自身の成長に繋がるのだと思っています。皆さんと一緒にチームになれることを期待しています。

Career Interview 03

## 出向について

金融庁では、金融システムの諸課題に対応するため、世界各地の国際機関や在外公館、金融規制当局、日本全国の財務局等に職員を派遣しています。

こうして世界中、日本中に派遣された職員から、金融に関する国際的な議論の状況や、各国の金融・経済情勢に関するフィードバックを受け、国際交渉や国内の金融制度の企画立案に役立てています。



# Secondments

## Tokyo, JAPAN 日本 | 東京都

### 日本銀行金融機構局 金融第一課

中山 健

NAKAYAMA Takeru 2019年入庁



#### 現在取り組んでいる仕事を教えてください。

日本銀行の金融第一課で、大手行のモニタリング業務に従事しています。具体的には、担当行の資金繰り状況の把握、経営状況の分析の他、担当行が所管する預金・貸出統計を用いたマクロな金融環境の把握も行っています。

近年の大手行では、グループ戦略の強化や海外展開に伴い、そのリスクプロファイルは複雑さを増し、更に外部環境も新型コロナウイルス感染症の影響やデジタル化の急速な進展によって大きく変化しています。日々変化する金融情勢の分析は知的好奇心を大きく刺激し、分析の結果が、金融政策決定会合の参加者に伝わり、実際に金融政策に反映されていくという中央銀行職員ならではの醍醐味も感じながら業務に取り組んでいます。

#### 出向して感じた金融庁の魅力を教えてください。

数年前には考えられなかったことが常識になる変化の激しい時代、今ある銀行・証券・保険といった業態ごとの金融の姿も今後大きく変わっていくのかもしれない。それでも私は、社会・経済の血液としての金融の役割は不変だと信じています。この国の金融について、柔軟な発想で業態横断的に議論し、規制・制度の企画・立案を通じて、あるべき姿の実現に向けて動いていく。唯一無二の金融行政機関である金融庁だからこそ魅力だと思います。

## Paris, FRANCE フランス | パリ

### 経済協力開発機構 (OECD) 事務局

深見 健太

FUKAMI Kenta 2009年入庁



※筆者は右から3番目。同じく金融庁からの出向者でOECD事務局に勤務する原口さん(左から2番目)とOECD代表部に勤務する新谷さん(左から3番目)とともに撮影



#### 現在取り組んでいる仕事を教えてください。

OECDコーポレートガバナンス委員会は、企業統治分野の唯一の国際基準である「G20・OECDコーポレートガバナンス原則」の改訂作業を2021年7月に開始しました。同原則の改訂は約8年振りであり、改訂の論点もESG(環境・社会・ガバナンス)への対応、企業の強靭性を支える株式市場の整備、社債市場における過剰なリスクテイクの抑制等、多岐に亘っています。

私はOECDに出向する以前に、金融庁の国際部門でいくつかの国際基準の策定にメンバー国の一員として関わっていましたが、現在は国際機関の事務局でいわば舞台裏を見る立場にあります。重要な論点について各国が事務局にどう働きかけ、事務局がどう対応しているかを知る貴重な機会をいただいています。

#### 出向して感じた金融庁の魅力を教えてください。

アジア最大規模の資本市場を有し、民主主義等の基本的な価値を共有する国として、日本が国際社会で非常に重要な地位を占めていることを再認識しています。また、多様なバックグラウンドを持つ職員がOECDに勤務する中で、金融庁で一国の規制策定プロセスを肌身で経験したことが私自身の大きな強みであると感じます。国内外で重要かつ実質的な仕事に関与でき、都度、自分のスキルや経験を見つめ直して次に活用出来る機会が与えられることは金融庁の魅力の一つです。

## Fukuoka, JAPAN 日本 | 福岡県

### 福岡財務支局理財部 金融監督第一課

熱田 優季

ATSUTA Yuki 2017年入庁



#### 現在取り組んでいる仕事を教えてください。

福岡財務支局では、金融庁からの事務委託を受け、福岡県、佐賀県及び長崎県の地域金融機関等の検査・監督を行っています。

私が所属する金融監督第一課では、地域銀行の監督業務を行っており、銀行の収益性・健全性が確保されているか、持続可能なビジネスモデルが構築されているか、日々検証を行っています。

地域金融機関を取り巻く環境が厳しさを増す中で、地域銀行が地元の企業から求められる役割は多岐に亘っています。地域企業の抱える課題・ニーズを適切に把握し、企業価値向上に向けた最適なソリューションを提供するために、地域の要である地域銀行が、どのような取り組みを行っているのか確認し、金融機関の取組みが持続的な地域社会の実現に資するよう、後押ししています。

#### 出向して感じた金融庁の魅力を教えてください。

出向して感じた一番の金融庁の魅力は、日々変化する状況に対して、機動的に支援策を講じることが出来る点です。新型コロナウイルス感染症等、未曾有の事態が生じた場合、迅速かつ正確に問題を捉え、先手先手で対策を講じる必要があると思います。国民生活に関わる重要な政策決定を行う過程に、一職員として携わることが出来る点は、金融庁の大きな魅力であると思います。

## 国内・海外留学について

# Postgraduate Education

金融庁では、国際化・複雑化する課題に行政として対応するため、国内・海外留学制度を通じて、国際感覚を養う機会や高度な専門知識を身につける場を提供しています。幅と変化とスピードに富んだ金融という分野で、「行政のプロフェッショナル」として活躍できるよう、職員一人ひとりの成長を応援しています。主に修士号を取得しますが、博士号を取得する例もあります。



- 金融庁在外派遣制度
- 行政官長期在外研究員制度（人事院）

### 海外留学

留学先の例

- ・カリフォルニア大学デービス校（米・法律）
- ・ケンブリッジ大学（英・金融）
- ・エコーポリテクニク（仏・経済学） 等



### 国内留学

留学先の例

- ・早稲田大学大学院会計研究科（会計）
- ・情報セキュリティ大学院大学  
情報セキュリティ研究科（IT）
- ・一橋大学国際・公共政策大学院  
アジア公共政策プログラム（公共経済） 等

**Pittsburgh, USA** 米国 | ピッツバーグ

## カーネギーメロン大学 工学研究科 博士課程

### 川井 大輔

KAWAI Daisuke 2018年入庁



#### 現在学んでいることを教えてください。

暗号資産取引の実態解明に向けた研究をしています。暗号資産およびその派生商品は世界中の取引所で取引されていますが、中には不正な目的で行われた疑いのある取引があります。インターネット上に公開された取引記録を分析し、このような取引による被害の拡大を防ぐための技術基盤を構築するとともに、それを金融制度にどう取り入れていくべきかを日々検討しています。

#### 留学を決意した理由は何ですか。

業務に携わる中で、情報技術について理解することが今後重要になると強く感じたからです。フィンテックや暗号資産の台頭により、情報技術が金融に与える影響を把握し、技術者をはじめとする新たなプレイヤーと対話することがより重要になると思います。そのような状況下で金融行政に貢献するため、腰を据え情報技術を学び、一度当局者とは異なる視点から金融制度を考えたく留学を決意しました。

#### 今後挑戦したいことを教えてください。

暗号資産の研究には、IT技術・経済学・公共政策等様々な分野の関係者が参入し、それぞれの視点から新しい知見を提示してくれています。そのような中で研究業績を上げ、コミュニティに貢献することが目下挑戦中の課題です。そして、この期間の交流を通して様々なステークホルダーと信頼関係を築き、帰庁後もより良い金融制度を構築できるよう挑戦し続けていきたいと思っています。

**London, UK** 英国 | ロンドン

## ロンドンビジネススクール 経営学（MBA）専攻

### 加瀬 達大

KASE Tatsuhito 2017年入庁



#### 現在学んでいることを教えてください。

ロンドンビジネススクール（LBS）において経営学（MBA）を専攻しています。世界67カ国から集まった学生とともに、金融論、会計学、経済学、組織論等ビジネスの基礎を幅広く学びつつ、事業会社、起業家、投資家、金融機関といった様々な経済主体の意思決定手法について議論しています。多様な環境下で合意形成をしていく難しさと面白さ、また自身の視野の広がりを感じる日々です。

#### 留学を決意した理由は何ですか。

規制策定や監督業務に携わり、金融機関、投資家、事業会社の方々と議論を行う中で、自身がより良い政策立案を行っていくためには、ビジネスへの理解を深める必要があると感じるようになりました。加えて、業務の中で海外当局と議論を行う機会が増え、国際的なコミュニケーション能力を向上させたいと感じたことが後押しとなりました。

#### 今後挑戦したいことを教えてください。

帰国後は、留学で培った金融実務やビジネスへの理解、多様なバックグラウンドをもつ学生と議論した経験等を活かし、経済成長の支えとなる投資の促進や環境整備に関する政策立案、国際金融規制に関する海外当局との交渉、金融機関及び金融市場のリスク管理等様々な業務を通じ、日本経済や世界の金融の発展に貢献していきたいと考えています。

**Kanagawa, JAPAN** 日本 | 神奈川県

## 慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科

### 土屋 あんな

TSUCHIYA Anna 2017年入庁



#### 現在学んでいることを教えてください。

セキュリティを中心としてサービスデザイン、テクノロジー、マネジメント、政策等幅広い分野について学んでいます。授業では最先端の技術に触れる機会も充実しており、より実践的なスキルを習得することが出来ます。また、留学生も多く、国や組織を超えた議論を通じて理解を深めることができ刺激を受けています。

#### 留学を決意した理由は何ですか。

金融機関のセキュリティに関する業務に携わる中で、デジタル化やサイバー攻撃の高度化に伴い、セキュリティが金融システムの安定にとって重要な要素の一つとなっていることを実感しました。こうした経験のもと、金融分野のセキュリティを強化するためには、金融当局職員として求められるITの専門性を高める必要があると考え、留学を志しました。

#### 今後挑戦したいことを教えてください。

留学後は、大学院で培った知見やノウハウを活かし、金融機関の検査・監督業務等に資することが出来ればと考えています。金融分野のデジタル化が進む中で、検査・監督業務でもIT知識が求められる機会が増えています。金融の検査・監督業務において、高度な知識と経験を持つ行政官とITやセキュリティの知識を有した専門家を結びつける橋渡し人材として貢献していきたいです。

## ワークライフバランス

私が担当者です！

総合政策局  
秘書課課長補佐

小島 啓治郎  
KOJIMA Keijiro

2003年入庁

金融を取り巻く環境が大きく変化する中、金融行政の質を維持・向上させていくためには、職員一人ひとりが最大限に能力を発揮して活躍出来る職場であることが不可欠です。そのためには、性別や年代、育児・介護等による時間的制約の有無にかかわらず、あらゆる職員が充実感のある仕事と生活を両立させることが出来る真のワークライフバランスや女性活躍の実現が必要です。

金融庁においては、新型コロナウイルス感染症対策として加速する働き方の変化に対応すべく、働き方の継続的な見直しや新しい働き方の定着に取り組んでいます。特に、テレワークを活用した柔軟な働き方の推進は、あらゆる職員が活躍出来る職場を作るために重要であるとともに、非常時における業務継続にも繋がるものです。

## Paternal Leave

### 男性職員の育児に伴う休暇・休業の取得促進

男性職員の育児参加は、男性職員本人のワークライフバランスはもちろんのこと、女性活躍を推進するためにも重要になります。令和2年度からは、子供が生まれた全ての男性職員について、育児に伴う1カ月以上の休暇（年次休暇等を含む）・休業を1年以内に取得出来るよう目指しています。父親になることがわかった男性職員には、育児に関する様々な制度を案内するとともに、当該男性職員が休暇・休業を取得出来るよう、その上司に対しても働きかけています。その結果、令和2年度以降は、子供が生まれた男性職員のほぼ100%が1カ月以上の休暇・休業を取得出来ました。

このような取組みにより、男性の育児に関する上司・同僚の理解も進み、休暇の取得やフレックスタイムの活用により、16時に退庁して保育園にお迎えに行く男性職員も珍しくありません。金融庁は、今後も男性職員の育児参加に向けた取組みを後押ししていきます。

## Teleworking

### テレワーク環境

金融庁では、全職員が自宅でも職場と同等の業務が行えるテレワーク環境を整備しています。具体的には、全職員にテレワーク対応の軽量ノートPCを配布している他、チャット機能、オンライン会議ツール、公用の外線通話アプリの導入等を行いました。これにより、ほとんどの業務をテレワークで実施することが出来るようになり、例えば、金融機関との面談や情報のやり取り、審議会の開催等もオンラインを積極的に活用しています。

令和3年の緊急事態宣言期間中は、全職員の約6割がテレワークを実施していました。宣言解除後も、多くの職員が引き続きテレワークを活用して業務を行っており、テレワークをしたい時に出来る雰囲気醸成されています。

また、金融庁独自の制度として、配偶者の一時的な地方転勤への同行や地方在住の親の介護に伴う遠隔地への転居の場合、その転居期間中に限り遠隔地からテレワークを行うことも出来るようにしました。これまで休職または退職を選択するしかなかった職員に対し、大きな選択肢を提供することが出来たと実感しています。

ポストコロナにおいても、テレワークを特別な働き方として位置づけるのではなく、通常の働き方の一つとして定着させていくことを目指しています。

## Member's Voice

### 若手職員の声

総合政策局  
IFIAR 戦略企画本部  
IFIAR 戦略企画室

白石 あずさ  
SHIRAIISHI Azusa  
2020年入庁

休日は、友人と山登りをしたり、ゆっくり読書をしたりと趣味を楽しんでいます。趣味の時間を存分に楽しむ、リフレッシュすることは、仕事へのモチベーションにも繋がっています。また、将来の海外留学へ向けて、始業前や休日に時間を見つけて英語の勉強にも励んでいます。バランスよく充実した毎日を送ることが出来るよう日々心がけています。



総合政策局  
リスク分析総括課  
検査監理官 G

反畑 優哉  
TAMBATA Yuya  
2021年入庁

休日は学生時代の友人とバレーボールをしています。庁内のバレーボールチームにも所属して省庁間の大会にも出場しています。冬の週末はスノーボードにも行きますが、今シーズンは尾てい骨にヒビが入ってしまいあまり行けませんでした(笑)。また、モニタリングの基礎知識となる簿記の勉強も日々続けています。テレワーク制度等が充実した環境の中で、仕事と趣味の両立を心がけています。



## Work-Life Balance

### 金融庁の新しい働き方



監督局銀行第二課  
地域金融企画室課長補佐

松本 亜衣 MATSUMOTO Ai 2013年入庁

### 遠隔地テレワークという選択肢

夫の転勤に伴い、約1年間、名古屋から遠隔地テレワークの形で働いていました。2人の子供もいるため、夫の単身赴任という道も選び難く、仕事と家庭、どちらかを諦めずに済む選択肢があったことは、大変ありがたかったです。

金融庁ではテレワーク環境の整備が進んでいるため、物理的な距離がある中でも、オンライン会議ツールや公用の外線通話アプリを活用し、庁内外問わず、業務に必要なコミュニケーションを円滑に図ることが出来ました。業務でも家庭でも予定外のことは日々生じますが、周囲のご理解とサポートのお陰で、仕事と家庭の両立に励んでいると感じています。

### ある1日のスケジュール 01

6:30	<b>起床</b> 朝食を用意。朝食後、時間がある日は、子供に絵本を読んだりお絵描きしたりします。
8:00	<b>登園</b> 在宅勤務の日は、子供を保育園に送り、自宅へ。始業時間まで、掃除等の家事をします。
9:30	<b>始業</b> 地域金融企画室にて、新たな担保制度の検討等を担当しています。パソコンを立ち上げ、メールチェックや、その日の会議で何を話すか頭の整理をします。
10:00	<b>金融機関とオンラインで意見交換</b> 法制度の実現を目指すにあたり、実際に制度を活用することとなる業界との意見交換は欠かせません。
12:00	<b>お昼休み</b> 在宅の日は、お昼休みを活用して、夕飯の下準備等をおこないます。
14:00	<b>チームでの打ち合わせ</b> 作成中の会議資料について議論。チームには弁護士事務所や再生コンサル会社出身の方もいるため、多様な視点からご意見をいただけます。
15:00	<b>資料作成</b> チームでの議論を踏まえ、会議資料を修正。伝わりやすいストーリーラインや言葉遣い、試行錯誤しながら考えます。
16:30	<b>電話対応</b> 公用の外線通話アプリで、他省庁からの電話に対応。一つの省庁のみで進められる施策は多くありません。庁内だけでなく、他省庁とのコミュニケーションも重要です。
17:00	<b>お迎え</b> 育児時間を活用し、お迎え。勤務終了時には、チームメンバーに引き継ぐべきことがないか、メンバーから相談したいことがないか、スカイプで確認してパソコンを閉じます。
18:00	<b>夕飯</b> 夕飯後は、子供たちがテレビ時間を楽しむ間に、手早く洗い物を済ませます。
21:30	<b>寝かしつけ</b> 子供たちからその日の出来事や大きな出来事。一緒に寝落ちしない日は、公用の外線通話アプリやパソコンでメールチェック等を行います。



総合政策局リスク分析総括課  
情報・分析室情報調整係長

関口 宥人 SEKIGUCHI Yuto 2015年入庁

### 「育休」を取得してみても

金融庁では男性職員の1カ月以上の「育休」取得を奨励しており、男性職員が育休を取得することがスタンダードになりつつあると思います。私は3カ月間育休を取得しました。

実際に上司に育休を取得したい旨を伝えた際は、復帰後の働き方に関する要望も聞いてもらうことができ、育休の取得しやすさだけでなく、将来的な仕事と育児の両立に関する不安も共有することが出来ます。

このような職場環境が醸成されているため、育休復帰後は在宅勤務やフレックスタイムを活用して育休復帰後も育児に参加することが出来ています。初めての育児で慌ただしい毎日ですが、娘の成長に驚き、喜ぶ日々を過ごしています。

### ある1日のスケジュール 02

7:00	<b>朝食</b> 早起きの娘と一緒に身支度します。
8:00	<b>業務開始</b> 在宅勤務とフレックスタイムを活用します。
9:00	<b>分析資料の作成</b> 金融機関から提出いただいた資料を用いて、分析資料を作成します。大量のデータを扱うため、集中できる午前中に行います。
12:00	<b>昼食</b> 午後の業務に向けて娘と遊んでリフレッシュします。
13:00	<b>午後の業務開始</b>
14:00	<b>資料説明</b> 作成した分析資料について、分析の観点や結果から導き出される洞察について上司に説明します。上司からの質問に答えられるように入念に準備して対応します。
15:00	<b>作業依頼対応</b> 関係部署からの作業依頼について、係内で相談をして対応方針を決めます。
16:00	<b>電話対応</b> 庁内からの分析資料に関する照会について対応します。オンライン会議システムを用いることで在宅勤務であっても円滑に業務を進めることが出来ます。
17:00	<b>業務終了</b> 本日にやらなければならない仕事がないかを確認して退勤します。在宅勤務の活用によって、平日でも速やかに育児に参加することが出来ます。
18:00	<b>夕食</b> 寝ぐずる娘をなだめながら急いで済ませます。
19:30	<b>娘のお風呂</b> お風呂後の保湿度は欠かせません。
20:30	<b>娘、就寝</b> 娘が寝た後は夫婦で談笑します。話題はいつも娘のことばかり。

## One Day Schedule

## 研修制度

# Training Program

### 研修の枠組みについて

金融を取り巻く環境が大きく変化していく中で、金融庁の研修の枠組みも時代に対応すべく常にアップデートされています。新人研修では、文書作成や思考法等の基礎的スキルに加え、新人職員同士が相互理解を深め、絆を育むことが出来るよう、ITツールを利用しながらグループワーク等互いに学び合う形式を多く取り入れています。

また、大学で金融に関連する科目を学んでいない新入職員も多くいることから、業務で必要となる専門的な知識やスキルを基礎から段階的に習得出来るような研修体系になっています。

さらに、専門分野(銀行・保険、市場・証券、開示・会計、IT等)ごとに育成担当者や先輩たちが中心となって、外部専門家も招きながら、各分野の庁内勉強会を全庁的に実施しています。

その他にも、英語や中国語の語学レッスンや情報処理技術者試験の一部に対する取得支援等も提供しています。国民の信頼や期待に応えていくためには、職員個人が金融行政のプロフェッショナルとして能力を高めていくことが不可欠です。金融庁では、職員が主体的に自身のキャリアをデザインし、学び、成長していくことを支援しています。

研修メニュー (一部抜粋)			
業務スキル	文章作成力・コミュニケーション プレゼンテーション・対話力・思考力	金融知識	銀行業務関連知識 (リスク管理、財務分析・簿記等) 基礎レベル～応用レベル
語学スキル	英語(リーディング・ライティング・英会話) 中国語(中国語会話)		証券業務関連知識 (ファイナンス、開示・会計・監査、市場分析・市場監視等) 基礎レベル～応用レベル
ITスキル	OAスキル (Word、Excel、PowerPoint、VBA、 プログラミング等) 情報処理技術者試験 (ITパスポート、情報セキュリティマネジメント) 取得支援		保険業務関連知識 (保険商品、保険数理等) 基礎レベル～応用レベル フィンテック等関連知識 (暗号通貨、資金決済、サイバーセキュリティ等) 基礎レベル～応用レベル

## 新入職員に聞いてみました

私たち、  
2021年4月に入庁しました！



# Open Policy Labo

## 自主的な政策提言

### 政策オープンラボ

金融庁では、若手職員を中心とした人材の育成・活用、組織の活性化に取り組むとともに、職員の新たな発想やアイデアを積極的に取り入れ、新規性・独自性のある政策立案へと繋げるため、職員による自主的な政策提案の枠組み(政策オープンラボ)を設置しています。

#### データ分析推進 LABO

皆さんはデータ分析に興味はありますか？

金融・経済は、いわば数多くの細胞が複雑に組み合わせられている、ダイナミックで巨大な生き物のようなもので、これまで語り継がれてきた姿とは大きく異なる振る舞いを見せることさえ増えています。金融庁として国益にかなう政策を実施するためには、この得体の知れない、けれども非常に興味深い生き物の生態を詳細に把握することが必要です。近年、大規模データの活用やデータサイエンスの手法が発展したことにより、こうした金融・経済の姿をより深く柔軟に理解する可能性が広がりました。

そこで我々は、金融庁内の分析力向上やデータ活用をより広げていくため、データ分析に関心のある職員が通常業務の他に分析業務に携わる環境を作ろうと「データ分析推進LABO」を立ち上げ、2021年より活動を開始しました。

ここでは、分析の企画、データの収集・加工・分析を行い、最終的に報告会で分析結果を発表するといった一連のデータ分析業務を通じて、それぞれの参加者にデータ分析の面白さを体感し、自身のスキルアップにも繋がってもらえたらと思っています。現在3つのチームに分かれ、それぞれが調査・分析を行い、幹部との意見交換も踏まえながら、業務の傍らデータ分析に取り組んでおります。

金融庁に入庁された際に、データ分析に興味がありましたら、是非一緒に面白さを体験しましょう!!



私が記事を執筆しました！

公認会計士・監査審査会事務局  
総務試験課

百瀬 蓮 ※金融包摂ラボ所属  
MOMOSE Ren 2021年入庁



#### 「貧困問題における金融分野の可能性」チーム (金融包摂ラボ)

貧困状態にある方や高齢者等、金融サービスから取り残されがちな方へのアクセスを確保する支援の取組みを、「金融包摂」といいます。特に、「貧困問題」の解消は、SDGsの一つ目の目標として掲げられ、日本においても子供の7人に1人が貧困状態にあるなど、喫緊の社会的課題です。

私たちは、日本の貧困問題に金融当局も取り組むことが出来ないかという問題意識から、「金融包摂ラボ」を立ち上げ、金融機関やNPO等へのヒアリング等を通じて貧困問題に対し金融行政や金融業界が出来ることは何かを模索しています。ラボには、入庁1年目の若手や、行政以外の勤務経験を持つ職員も複数在籍しており、各人が様々な視点を持ち寄り、自由に意見交換しています。2022年2月には、イベント「Re:ing/SUM地域金融のチカラでつくる未来」において、子供の貧困と金融業界での取組みをテーマに議論を行いました。

これらの活動を通じて得られた発見や論点を踏まえ、金融庁として貧困問題解消にどのように貢献し得るのか、具体的に検討していきたいと考えています。

海外留学や海外駐在等、海外とかかわるチャンスが努力次第で広く与えられています。また、金融分野に関心があり、企業では経験出来ない検査・監督や社会のルール作りが出来る法案作成等にも興味を持ってました。

#### 金融庁に決めた理由 Q.1

アメリカ短期語学留学に行き、将来に対する不安が人々の心にも与える影響の大きさを知り、「国民が将来に希望を持てる社会」を実現したいと考えました。そのためには日本経済の活性化が必要であり、経済を支える金融に携わりたいと考えたため、金融庁を選びました。

まずは業務をこなすというレベルから、業務の本質を理解することが出来るレベルになり、上司の話や流れてくる情報がどういったことを意味しているのか理解出来るようになってきました。

#### 1年たって成長したと思うこと Q.2

当初はコミュニケーションをとる相手が直属の上司のみでしたが、直属の上司以外の関係者とも積極的にコミュニケーションをとり、主体的に取りまとめを行う自覚が芽生えました。

入庁してからも共に切磋琢磨できる仲間がいたり、「こういう職員になりたい」というお手本となる先輩方がいたり、日々様々な方に刺激を受けながら業務をしています。また自分自身のスキルアップが、金融庁、ひいては国の行政への貢献に繋がる、非常に大きな仕事の一部を担っていると感じています。

#### 金融庁を考えている皆さんへ Q.3

金融は専門性が高い分野のように思われますが、銀行・保険・証券と業態も幅広く、時代に応じて変化するため、多くのことを学べる分野です。職員の雰囲気も金融庁の魅力だと思いますので、説明会にご参加いただきその雰囲気を肌で感じてみてください。

## 採用案内

### 求める人材像

金融行政のプロフェッショナルとなるポテンシャル・意欲のある方。

金融だけでなく  
経済・産業や社会全体に対して  
アンテナを高く張り巡らす

#### 好奇心

自由な発想で  
最適な政策を提案する

#### 柔軟なアタマ

法律、経済、会計、語学、  
IT、データ分析……等  
幅広い分野の知識を吸収する

#### 向上心

自らの手で日本を良くし、  
国民の幸せに貢献したい

#### 志

### 勤務地

東京(金融庁本庁)での勤務が中心となりますが、本人の希望や職務の要請に応じて地方・海外勤務もあります。

#### 金融庁本庁以外の勤務先 (2022年4月1日現在の例)

##### 国内

各地の財務局：関東財務局、東北財務局、近畿財務局 等  
他省庁：財務省、経済産業省、厚生労働省、警察庁 等  
民間企業・大学等：日本銀行、日本政策投資銀行、東京証券取引所、NTTデータ、日立ビルシステム、デンソー、東急不動産、東京大学 等  
地方自治体：石巻市、川崎市 等

##### 国際機関

バーゼル銀行監督委員会(BCBS)、金融安定理事会(FSB)、証券監督者国際機構(IOSCO)、  
保険監督者国際機構(IAIS)、国際通貨基金(IMF)、経済協力開発機構(OECD) 等

##### 海外当局・在外公館等

在ニューヨーク日本国総領事館、在英国日本国大使館、欧州連合日本政府代表部、在インド日本国大使館、  
在シンガポール日本国大使館、在中国日本国大使館、在ドバイ日本国総領事館、在エジプト日本国大使館、  
JETRO(香港)、ジョージタウン大学 等

### よくあるご質問

#### Q. 法律系や理工系など、大学(大学院)で金融・経済を学んでこなかった学生でも採用されますか？

直近5年間の新規採用者の出身学部(専攻)は右図の通りです。  
金融行政には、金融・経済、法律はもちろん、他にも多くの分野の知識が必要です。そのため、これまでも金融・経済系や法律系の他、理工系など多様な専攻分野を持つ方を採用してきました。近年では気候変動・生物多様性リスク、サイバーセキュリティ等の専門分野や暗号資産交換業者等の新しい金融事業者のモニタリング等、金融行政が直面している政策課題の領域が広がっており、より多様な人材を採用したいと考えております。また、官庁訪問に臨むにあたり、金融・経済の専門知識は必要なく、業務に必要な金融・経済の専門知識は、入庁後に実務を通じて身につけることが可能です。金融・経済の勉強をしたことがないものの、興味・関心がある、という方は是非官庁訪問にお越しください。

#### Q. 業務において英語力は要求されますか？

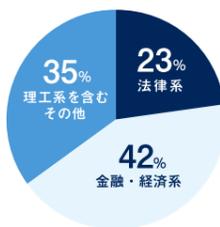
金融はいつも昔もグローバルですから、もちろん、入庁後の業務においては英語力が要求されることがあります。官庁訪問時、英語力によって足切りを設けることはありませんが、英語力向上に向けた意欲は持ってほしいと考えています。なお、金融庁は、職員の英語力向上をサポートすべく、充実した海外留学制度や語学研修を有していますので、入庁後継続的に英語力を高めていくことが可能です。

### 採用実績

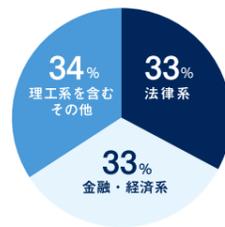
\* () 内は女性数

年度	総合職	一般職
2016年度	15(7)人	18(9)人
2017年度	13(4)人	26(9)人
2018年度	13(5)人	22(9)人
2019年度	15(5)人	24(8)人
2020年度	13(6)人	27(13)人
2021年度	14(4)人	32(12)人
2022年度	14(8)人	32(12)人

#### 【総合職】



#### 【一般職】



# Message from HR team

## 採用チームからのメッセージ

## 「金融行政」への誘い

- Cool Head but Warm Heart -

金融は、古今東西のあらゆる出来事・局面に立ち会ってきました。その時々時代の要請に応じ、企業の期待に応え、国民の暮らしに寄り添ってきました。いま、経済・社会が大きく変化している中で、経済・社会を支えるインフラたる金融も、より多様で新しいニーズに答えていくことが求められています。この先の金融庁も、このパンフレットには登場しなかった新たな行政課題に直面し続けることでしょう。

私たちは、行政の立場として、脊髄反射ではなく、常に経済・社会全体を冷静な目で俯瞰しながら課題解決に取り組んでいく必要があります。しかし、如何なる時も、「金融という切り口から、日本に貢献したい。」という職員一人ひとりの熱い思いは変わりません。このパンフレットでは、様々な課題に向き合う職員と、それを支える金融庁の組織・カルチャーを紹介してきました。

行政課題が多様化しているからこそ、金融庁においても多様な人材が活躍することが不可欠です。「職員の自主的主体的な取組みのサポート」「多様な働き方の推進」「充実した研修による職員の能力向上支援」これらは、社会のうねりの中で、不断な自己改革と新たなチャレンジを続けてきたからこそ培われた、金融庁が誇るカルチャーです。

ここには、皆さん一人ひとりが輝ける場所があります。広い視野と熱い思いを胸にして、皆さんが金融庁の門戸を叩いてくれるのを待っています。

### 金融庁 採用チーム一同

